

令和2年6月16日

令和2年度入学式を開催するにあたって

新入生の皆さん、7月11日(土)に入学式を開催することになりましたので、お知らせいたします。

今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大を防ぐために、入学式を行わず、オンライン授業を続けてまいりました。初めての大学生活をこのような形で迎えるとは予想もしなかったのではないのでしょうか。皆さんは4月1日入学後キャンパスへ一度も来校できず、教科書やタブレットもなかなか手に入らない中で、新しい授業形態に戸惑われたことと思います。大学もこのような事態は初めてのことでしたので、教職員一丸となって取り組んでまいりました。ご苦勞やご不便をおかけいたしましたことに、理事長・学長としてお詫び申し上げます。

5月25日には、政府からの「緊急事態宣言」が解除され、6月11日には、東京都が発する「東京アラート」も解除されました。もちろん、国や東京都からの自粛要請が解除されたから、すぐに通常授業に戻そうというわけではありません。本学では、慎重に検討を重ねた結果、対面授業が必須と判断するところです。やはり安全安心をモットーに考えますと正常の授業をすることは不可能です。7月1日から間隔をとり対面授業を開始することになりました。

この決断は大変重たいものだと自覚しております。学生ファーストという言葉を手軽に使う人もいますが、本当に学生のことを思えば、学生の健康が第一で、決して大学がクラスターになってはいけないという信念に変わりはありません。

同時に大学は教育機関としての社会的使命を果たす必要もあります。新入生の皆さんをあたたかくお迎えしたいというのは、私ども教職員一同の素直な気持ちでもあります。

世界じゅうで「ステイホーム」から「ウィズゴロナ」という形で大きな変化が生じています。ロックダウンや外出禁止が出された国でも経済活動が再開され、徐々に「新しい生活様式」が始まりました。このような情勢にあって、できることから徐々に段階的に試行錯誤を重ねていく時期が来たのかもしれませんが、今回の入学式について、関係部署で慎重に議論を重ねてきましたが、感染対策をしっかりと講じた上で実施できればという結論に達しました。

入学式は、人数を制限するために、午前中は、経営学科、午後はイベントプロデュース学科・大学院にわけて行います。ただし、参加は強制ではありません。通勤客の少ない土曜日を選びましたが、第二波、第三波が来たら、直前になって、即判断しご連絡いたします。

学生の皆さんの健康と安全の確保を最優先に考えながら、できることから段階的に始めていこうという私どものスタンスをご理解いただきたく思います。新入生の皆さんをお迎えする教職員の気持ちを、このような形で表したいと思っておりますので、可能な限りご参加ください。

新入生皆さんのご健康を案じております。

学校法人東京富士大学 理事長 二上 映子
東京富士大学 学 長 井原 久光